

各地域・職場で、被ばく労働問題の講演会などを企画してください

私たち「被ばく労働ネットワーク」は昨年11月、約300人が参加する集会をもち、東京で結成されました。原発や除染の現場で働く労働者に思いをはせ、彼ら/彼女らの健康と権利を守るためです。

その後、福島を除染現場で働く労働者から、100件を超える相談がホットラインに寄せられました。環境省が予算化した危険手当1万円の不払い問題を中心に、多重下請け構造における暴力的な労務管理や不安全な労働環境の問題を争議化し、一部、勝利を勝ち取っています。

並行して規制庁、厚労省、文科省などとの省庁交渉で、継続的な追及に取り組んでいます。

一方、福島第一原発のなかで労働者の不当な首切り事件も起こりました。東電の求めに応じて規定違反の職場の実情を告発して解雇された労働者は、勝利的な決着を勝ち取っています。

私たちは、労働者の健康や権利や生活が守られない根本原因は、多重下請け構造にあると考えます。また被ばく労働を「汚い労働」として忌避する社会的差別の存在が、この構造を維持してきたとも言えます。不都合があれば、労働者や下請け会社を切り捨てる隠ぺい体質こそ、福島第一原発の事故の大きな原因だったのではないのでしょうか。

いま政府と電力会社は、各地で原発の再稼働を狙っています。止まっている原発においても、管理を行っている労働者には溜め込まれた放射能が降りかかっています。再稼働されれば、事故の危険が高まるのみならず、1基あたり数千人の労働者が新たに生み出される放射能にさらされることとなります。

私たちは、労働者の健康と権利を守る安全運動こそが、福島第一原発の廃炉作業の持続可能性と、また新たな事故発生を許さないことの保障だと思います。この点で原発をなくすことと、被ばく労働者を守る事が1つに結びつくのではないのでしょうか。

ぜひ各地域や職場・学校で、被ばく労働問題の講演会などを企画して下さるようお願いいたします。

★被ばく労働ネットは、皆さんの企画をサポートします

- ① イベントは、講演会、シンポジウム、学習会、懇談会など、どのような形態でも歓迎です。
- ② 被ばく労働ネットは、ご要望に応じて講師やレポーター、映像や資料などをご紹介します。
- ③ 講師料や交通費、経費などについては、皆さんの実情に即してご相談に応じます。



▲被ばく労働ネットワークの、7/6「除染事業と除染労働の実態を問う」集会。約250名が参加した

■連絡先・問い合わせ先 **被ばく労働を考えるネットワーク**

〒111-0021 東京都台東区日本堤1-25-11 山谷労働者福祉会館気付

<http://www.hibakurodo.net> mail: info@hibakurodo.net 電話: 090-6477-9358(中村)

賛同費個人1000円、団体3000円:カンパ:振込先:郵便振替00170-3-433582